

福祉だより

# ぬくもり

第139号  
2025年4月27日

西宮市北六甲台地区  
社会福祉協議会  
会長 日高 昭夫

●発行/北六甲台地区社協●発行月/偶数月●編集/北六甲台地区社協広報研修部●配布エリア/北六甲台・上山口2,3,4丁目

## 第二十一回 有馬川さくらまつり

### 好天と七分咲きのさくらで大盛況!



#### 汗だくの機材運搬

気温とさくらのほころびを気にしながらさくらまつりを迎えました。幸い適度な寒さが満開手前の七分咲の絶好の見ごろのさくら並木を運んでくれました。天候も雲ひとつない快晴でお花見日和となりました。

早朝九時に安心プラザから、屋台で販売するえびせん、焼きそばパン、あんホイップパンの材料やスーパールボール、魚釣り、ゴム鉄砲のゲーム用の機材や机と椅子など沢山の機材を役員の手でトラックで有馬川緑道に三往復して搬送しました。

#### 強力な助っ人中学生

今回も山口中学の生徒さんのボランティアに助けられました。開催三十分前の会場では屋台やゲームのそれぞれに応じてスタッフから役割分担の説明を受け配置されました。スーパールボール掬いは九名の生徒さんを班分けし、ボールをすくい取るポイの紙を張り付ける担当、プールのボールを器に入れ紙が破れると器回収する担当といった具合です。

#### 若い世代からお年寄りのまで

ゲーム開始の十一時前



から待ちかねた児童が受付前に列を作る姿がみられました。

十一時に屋台販売とゲームが始まりました。どのコーナーも大変な盛況のスタートでした。

小さな子供さんを連れだ若いお父さんお母さんから、お年寄りまで沢山



の皆さんに屋台の食べ物求めて頂き、ゲームを楽しんで頂きました。

山口地区社協と北六甲台地区社協の共同開催ですが、キッチンカーやフリーマーケットの出店もありました。また緑道中央のあずまや横では「さくらやまなみ楽団」の演奏やフラダンスのイベントが花を添えました。

#### トミカの販売に長蛇の列

今回のさくらまつりでは”さくらやまなみバス”のトミカ”が販売されました。事前に小中学校内での友だち同士のクチコミや保護者のネット情報もあり前評判は上々のようでした。予想通り緑道の販売所前には販売開始の前から長蛇の列ができていました。



#### ボランティアの皆さんに感謝

準備と片付けではボランティアセンタースタッフが始め地域のボランティアの協力を頂きました。皆さん!本当にありがとうございました。

(広報研修部 小出)

# 北六甲台小学校

## 福祉学習

### アイマスク体験

北六甲台小学校福祉学習「車イス、アイマスク体験」が二月十二日に小雪の降る中で開催されました。地区社協ボランティアセンターから車イスに十二名、アイマスクに十二名のボランティアさん



が四年生の皆さんのお手伝いをさせて頂きました。私はアイマスクの担当で、それぞれの位置で待機して、生徒一人がアイマスク、もう一人が誘導係で歩いて来るのを見守り、助言をしたりと怪我

をしないように、ハラハラドキドキの時間でした。優しく誘導する子、声を掛け合う子、無体験前に市社協の担当の方から誘導の説明があつたので、大半は守れていたかなあと思いました。

体験終了後生徒さん達からは、目の障害の方の苦勞が分かつた等の感想がありました。交差点の信号全てで音楽が鳴る訳ではありません。そんな所に遭遇した時は、優しく声を掛けてあげてねと市社協の担当の方がコメントされました。

(ボランティア 中野)



## 車イス体験

車イス体験では、体育館前で車イスに乗る人、押す人、安全を確認する人に分かれ、南門前のスロープを使って、校舎側への登りと下りの介助方法の訓練を支援しました。

登りは進行方向に向かつて進みますが、下りの場合は後ろ向きに下る方法を、車イスに乗っている人が不安にならないように、声をかけながら気を付けることを学びました。生徒さん達は、坂の登り下りの介助者の操作の難しさを感じとりました。

(ボランティア 小出)



# 北六甲台小学校

## お米フェスティバル

### 満席の参加者

「北六甲台、山口地区で私たちが育てたお米の良さを知ってもらうため」のスローガンで、五年生による「北六お米フェスティバル」が二月二十八日に北六甲台小学校で開催されました。

正門では児童が笑顔でお迎え、会場でも係の児童の案内で前から順に着席し会場が満席になり、プレゼンテーションが始まりました。

### 自然農法と日本の問題

田植えから収穫まで自然農法（化学肥料や農薬を使わない）栽培の様子をプロシエクターを使って説明があり、水田の生き物調査も興味深く拝見しました。

高齢化している農業従事者の問題、食料自給率や食品ロス等、現在日本の抱えている農業問題について学習成果を真剣にプレゼンしていました。お米のクイズなどもあり

楽しいひと時でした。

### 北六米の試食とお土産

北六米の試食では、ほくほくして美味しいと好評でした。北六米1kgをお土産に頂き参加者一同笑顔で帰宅しました。素晴らしい「お米フェスティバル」でした。

五年生の児童の皆さん、ご指導いただきました先生方、本当にお疲れ様で



しました。そして、この催しに快くご参加頂きました地域の皆様に心より感謝致します。有難うございました。

(広報研修部 岡部)

ダイハツ工業

災害ボランティアコーデイネーター養成講座

災害ボランティアの心構え

三月十九日（水）、流通センターにあるダイハツ工業西宮部品センターで行われた養成講座に、社協からボランティアとして4人が参加しました。これから起こると予想される大規模自然災害時に、ボランティアとして救援活動に参加する人たちの注意と心構えを学ぶ講座です。

西宮市北部に土砂災害が出たという想定でしたが、被災地に行つて援助するといっても、現地では当然ながら役割の分担があり、自分の希望と違った役割を担うこともあり得ます。そこでの作業と最終の報告など、実際の援助活動に必要なプロセスを学びました。非常な有益な講座でありました。

(広報研修部 葛原)

災害ボランティアの心構え

午前中はダイハツ社員対象の研修で、午後から私たちも参加して実地訓練を受けました。

災害発生時、現地受入れスタッフと災害支援スタッフに分かれ、私達は後者を担当しました。まず受付で住所と氏名を登録します。次に保険登録の有無や活動報告書の必要の有無を受入れスタッフの確認します。その後自分が提供可能な活動を申告します。例えば土砂の屋外搬出等の活動です。そこでマッチングしたメンバーと一緒に現場へ行き活動を行います。

活動が終了すれば、受付に戻り完了報告します。一連の流れで災害発生時の拠点では、どういふ手順でどのようにスタッフがつながるのかについて学ぶことが出来ました。受入れスタッフとして実際に訓練をしてみないと難しい面があります。

(広報研修部 小出)

認知症カフェ

『にこにこ丸山カフェ』の最終日



毎月第四木曜日の午後十三時三十分～十五時に山口公民館実習室で開催されていた認知症カフェ『にこにこ丸山カフェ』が、三月二十七日（木）に最後の日を迎えました。

同カフェは、二〇一八年に山口・北六甲台地区社会福祉協議会などの呼びかけで立上げ実行委員会を結成。同年十二月十三日にオープンの日を迎えました。途中、新型コロナウイルス感染症による活動中止や、コープこうべ西宮北店閉店でのコープ組合員集会所から山口公民館への会場変更もありました。



地域にお住まいの認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる街になることを目指して、約六年間ボランティアスタッフ（以降、スタッフ）による運営で開催を続けてきました。

最終日となったこの日は、カフェの開催前の立ち上げ時の関係者も集まり、昼食をともしながら和やかに歓談。前代表の足立さんなど久しぶりにお顔を合わせる方の参加もあり、思い出話に花が咲きました。

カフェの開催時刻になると、常連の参加者のほ



ご利用ありがとうございました！  
(スタッフ一同)

か「今日が最後と聞いたので」とお久しぶりの参加もあり、スタッフ含め三六人で、賑やかな会となりました。「ななくさ白寿荘」の職員による体操やスタッフの作品、しりとりのカードゲームなどで盛り上がり、最後はスタッフによる花道で見送り。スタッフの「お元気で過ごしてくださいね」のお声掛けに、参加者からは「また、どこかでお会いしたいです」とのお言葉をいただきました、お別れを惜しみつつ無事に終えることができました。

(広報研修部 久慈)

# 社協管外研修（姫路）

## ひめじ防災プラザでの貴重な体験

年一回、社協を支えるボランティアスタッフが対象に研修と交流を兼ねた「交流研修会」を実施しています。今回は姫路方面の管外研修でした。

当日の三月二十九日は少々肌寒い日となりました。コミセン前と丸山下のバス停から乗り込んだ人数は担当スタッフを含め二十名、少々参加者が少な

いのが残念でしたが、バスは一時間ほどで、姫路防災プラザに到着しました。

「すぐ横が消防署で”防災”を意識させてくれる佇まいです。最初に兵庫県の地震や火事、風水害についての対策の話を聞き、次は実際の体験に近い3D（スリーディー）の映画、飛び出す絵本のよう

ました。また、消火器の使い方や学ぶために全員が消火器で実技を体験しました。

最後の体験は、火災で電気も消えた部屋からの脱出体験です。何も見えない真っ暗の部屋の中で壁を触りながら手探りで出口を探すのですが、何枚ものドア、漂ってくる煙、思ったように進めません。折も折、政府が最新の南海トラフ地震の被害予想を発表しましたが、もし夜間に地震が起きたら、自分の家の中でも避難するのは大変だと思われました。避難所の水や食料の備蓄は一日から三日程しかないのです、いざという時の備えとして三分、できれば一週間分の

### 兵庫県立歴史博物館と食事

ストックが必要とのお話でしたが、ローリングストックの実践で自助が必要と思われました。

その後、姫路城のすぐ北に位置する兵庫県立歴史博物館で姫路城の構造

### 日本玩具博物館

等を学び、姫路市内の灘菊酒造で食事と試飲をした後、次の目的地の日本玩具博物館に向いました。田園地帯にある元民家の母屋や離れを使って、昭和の玩具や世界中の玩具が展示されていました。グリコのおまけも展示があり、館長の丁寧な説明で一気に子供時代に帰ることができました。最後はヤマサ蒲鉾です。



お土産として日持ちのする練物を買う人、賞味期限今日中の揚げたての練物を買う人、焼き立てちくわを食べる人など皆楽しみました。事故もなく、楽しく学べた一日となりました。

（広報研修部 神田）